

令和2年度 第2回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

〔事務局〕 都市部都市政策課

〔開催日時〕 令和3年2月5日（金）

〔開催場所〕 書面開催

〔出席者〕

（委員） 藤井会長、宍戸副会長、小堤委員、秋元委員、露木委員、落合委員、
小川委員、後藤委員、大曾根委員、古尾谷委員、大川委員、
小林委員、宮川委員、福永委員、市川委員、小泉委員、三橋委員、
山際委員、黒石委員、菊本委員、

（事務局） 重田都市部長、飯田参事兼課長、大園係長 他1名

〔公開の可否〕 公開

〔傍聴者〕 書面会議につき、なし

〔議題〕

- 1 令和2年度事業報告について
- 2 地域公共交通網形成計画の進行管理について

議題内容について、書面審議の結果、原案どおり承認された。

〔送付資料〕

資料1 令和2年度第2回伊勢原市地域公共交通協議会議題資料

別紙1 令和2年度第2回伊勢原市地域公共交通協議会書面開催について

別紙2 回答様式（表決書）

参 考 伊勢原市地域公共交通協議会設置規則（H30.6.8施行）

参 考 R3.2.5 委員名簿

《 意 見 等 》

No.	意見等の要旨	事務局の考え方
1	東部第二地区はバス路線から離れており、公共交通空白地区と見受けられる。 地域公共交通ネットワークのあり方や利便性の向上に向けた具体的な施策についてご教授いただきたい。	東部第二地区は、平成 27(2015) 年から産業系土地利用を目的として、土地区画整理事業により造成工事が進められている新市街地です。このため、大半の区域が、本市の公共交通網形成計画で定義する公共交通の利用圏域外となっています。 こうしたことを踏まえ、施策 3 に係る実施計画として掲げた、新たな都市づくりに対応した地域公共交通ネットワークを検討するために、東部第二地区に関する事業進捗状況について、バス事業者へ情報提供を行いました。 東部第二地区東側には、隣接する歌川産業スクエアを愛甲石田駅南口から循環するバス路線があり、地区西側には、伊勢原駅と愛甲石田駅を発着地とするバス路線が運行されています。 具体の議論は、企業の立地状況やバスの利用ニーズなどを踏まえながら進めていくこととなりますが、こうした既存バス路線の利活用を含め、今後更に検討を進めていきたいと考えています。
2	コロナ禍における外出機会の減少に対して、地域での外出機会の創出や外出先での密の回避などの施策がとられている。一方、施策 5 の免許返納を行った高齢者のニーズに対応した地域公共交通の仕組みづくりも必要だと考えられる。 免許返納者から、地域交通に関する意見等は何かあるのか、ご教授いただきたい。	資料のとおり、市内の免許返納者数は、増加傾向にあります。これまで、地域公共交通に関する具体的な御意見等をいただいたことはありません。 しかしながら、免許返納を検討している方を含め、コロナ禍も相まって、返納後の移動手段について、不安を持っている方も多いと考えています。 こうしたことを踏まえ、今後もバリアフリー化の推進や公共交通利用に関する情報発信とともに、公共交通事業者が取り組む、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への支援などを通じ、身近な移動手段として、公共交通を選択しやすい環境づくりを進めていきたいと考えています。